

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	地島～神湊	<p>・離島航路担当部署と離島振興担当部署を統合した強みを活かして常日頃から密に情報共有・連携を行い、ターミナルでのイベント掲示やイベント時の円滑な来客対応など来島促進に向け取り組みを強化した。</p> <p>・国から示された船舶の安全基準の強化・義務化について、適宜情報を把握し、適切に対応した。</p>	A	A	<p>・利用者が安心して渡船を利用できるように、引き続き、感染症の拡大防止に向けた取り組みを進める。アフターコロナの来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し来島促進に向けた情報発信等の取り組み強化に努める。</p> <p>・知床遊覧船対策検討委員会がとりまとめた「旅客船の総合的な安全・安心対策」に基づく国からの指示に則り、今後もハード・ソフトに両面において安全運航に向けた対応を行う。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、離島振興・観光担当部署と連携して、来島促進の取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	大島～神湊～地島	<p>・離島航路担当部署と離島振興担当部署を統合した強みを活かして常日頃から密に情報共有・連携を行い、ターミナルでのイベント掲示やイベント時の円滑な来客対応など来島促進に向け取り組みを強化した。</p> <p>・国から示された船舶の安全基準の強化・義務化について、適宜情報を把握し、適切に対応した。</p>	A	B	<p>・利用者が安心して渡船を利用できるように、引き続き、感染症の拡大防止に向けた取り組みを進める。アフターコロナの来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し来島促進に向けた情報発信等の取り組み強化に努める。</p> <p>・知床遊覧船対策検討委員会がとりまとめた「旅客船の総合的な安全・安心対策」に基づく国からの指示に則り、今後もハード・ソフトに両面において安全運航に向けた対応を行う。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、世界遺産等の島内観光資源を活かした交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県新宮町離島 確保維持協議会	新宮町	相島～新宮	新型コロナウイルス感染症の落ち着きとともに、激減していた乗船客数は復調傾向にある。併せて、外国人利用客の割合も増加傾向にあるため、待合所における多言語表示等、サービスの向上に努めた。	A	B	旅客船の安全運航に向けた新しい基準及び取組に対応しつつ、乗船客の利便性向上と利用者数増を目指していくとともに、より効率的な航路運営を図っていく。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、観光地である相島の観光客誘致等の取組により交流人口の増加を図ることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県福岡市離島 航路確保維持協議会	福岡市	玄界島～博多	島民が安心して乗船できるよう、待合所、船内容室における新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。また、情報発信に関しては、SNS等を活用するほか、市庁舎等でパネル展を実施するなど島民以外の利用者拡大に努めた。	A	C	島民が安心・快適に乗船できるよう利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信を行い、島民以外の利用者拡大にも努めていく。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、SNSでの情報発信や利用者の利便増進等の取組により交流人口の増加を図ることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県福岡市離島航路確保維持協議会	福岡市	小呂島～姪浜	島民が安心して乗船できるよう、待合所、船内客室における新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。また、情報発信に関しては、SNS等を活用するほか、市庁舎等でパネル展を実施するなど島民以外の利用者拡大に努めた。 なお、新船建造については現在も協議を進めている。	A	B	島民が安心・快適に乗船できるよう利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信を行い、島民以外の利用者拡大にも努めていく。 欠航率の改善については、時化に強い省エネ船舶の建造を目指していく。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、策定された航路改善計画に沿って、時化等へ対応する省エネ型代替船舶の建造や、欠航状況の把握等を行う取組により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県糸島市離島航路確保維持協議会	糸島市	姫島～岐志	引き続き、糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。 また、継続して、市観光部門が作成した「ひめしマップ」を船内や岐志観光休憩所に配架、また市観光協会に配布し、島の魅力をアピールすることで、観光客等の利用増進に努めた。 新型コロナウイルス感染症の影響等から利用者が回復傾向にあったこともあり、利用者の増進を図ることができた。	A	B	島民や島外からの来島者が安心して渡船を利用できるよう、安全運航を徹底し運航する。 また、観光パンフレット「ひめしマップ」の配布や市ホームページ、SNS等による情報発信を行い、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用等島外利用者の拡大に努めていく。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、「ひめしマップ」の配布やホームページ、フェイスブックなどによる情報発信を行い、観光客誘致の取組により交流人口の増加を図ることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県北九州市離島航路確保維持協議会	北九州市	藍島～小倉	<p>①経費縮減 船員が対応可能な小修繕を行い経費削減を図るとともに、停泊時のアイドリングストップや入札により高騰する燃料費の抑制に努めた。</p> <p>②離島活性化 定期的な活動を行う海岸清掃団体など、島の応援者たちの参加により、島外との繋がりが図られた。</p> <p>③増客対策 ペアチケットやファミリーチケットの活用や、夏季増便を運航し、島外からの集客を図った。</p> <p>④船員の雇用対策 退職に伴う船員の雇用を前倒して新採職員の習熟期間を確保するなど安定した運航のための雇用を図った。</p>	A	B	<p>①ダイヤ改正 今後、船舶を長期間使用するにあたり、機関への負荷を軽減するため、エンジン出力の抑制の取り組みを進めるが、その影響による所要時間の増加については、島民の理解を得ながら進めていく。</p> <p>②経費縮減 計画的な船舶修繕計画の検討を含め、引き続き、経費の縮減に努めていきたい。</p> <p>③離島活性化 島で定期的な活動を行う海岸清掃活動団体など島の応援者たちの参加により、島外との繋がりを継続していく。</p> <p>④増客対策 コロナ禍からの回復傾向とマイクロツーリズムの流れを引き続き活かし、臨時便や割引チケットの活用により、5月の連休や夏季休暇時での集客対応に力を入れたい。 また、デジタル化に合わせて待合所等へのWi-Fiの導入など利便性の向上など集客対策を継続して行っていきたい。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路の運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、市の観光部との連携をして、マイクロツーリズムの流れも活かし、情報発信を行いながら観光客誘致の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。 また、ダイヤ改正、船員の雇用対策、経費節減、安全運航の取組についても継続的な実施を期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	有限会社 郵正丸	馬渡島～名護屋・呼子(本土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行による修繕費の削減等により、経費削減に努める。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、令和4年度に策定した航路改善計画の遂行の他、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後は、令和4年度に策定された航路改善計画に沿って、安全運航に支障を来さない範囲での費用削減、交流人口の増加、就航船舶代替建造等の取組により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	有限会社 加唐島汽船	加唐島～呼子(本土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行による修繕費の削減等により、経費削減に努める。	A	A	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、令和5年度に策定する航路改善計画の遂行の他、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後は、県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。 また、令和5年度中に策定予定の航路改善計画にそって、安定的な運航運営が確保されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	川口汽船 有限会社	小川島～呼子(本土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用を必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、共通予備船の利用や安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行等による修繕費の削減により、経費削減にと努める。共通予備船の代船として貸し出すことにより収益の増加を図る。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・共通予備船の利用回数を増やすことで燃料消費量の削減を図るとともに、安定的な航路運営に努める。 ・令和6年度に、離島航路改革補助の調査事業を実施する予定であり、航路を安定的に維持・確保するための航路改善計画を取りまとめる。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、交流人口を増やす取組を実施されることにより引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。 また、令和6年度実施予定の調査事業を活用して、航路の定量的な実態把握に努められ、安定的な航路運営がなされることを期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	唐津汽船 株式会社	神集島～湊(本土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行による修繕費の削減等により、経費削減に努める。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、交流人口を増やす取組を実施されることにより引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。 また、運航ダイヤの減便にともなう、経費削減効果により、持続可能な運航の確保に期待します。	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州郵船株式会社	博多～比田勝	<p>・新造船うみでらしの就航後は、就航率が大幅に改善し、運航への信頼感が格段に飛躍した。</p> <p>・船舶の性能が高まった事に伴う船内の快適性や、欠航及び延着がほとんどなくなった事による安心感が利用客に定着しつつあり、本航路の利便性が高まった事を追い風にして、集客の段階から本航路利用促進を促すような販促、営業活動に取り組んだ。</p>	A	A	<p>・対馬島内は特に若年層の島離れ等で過疎化が進み年々、島内人口は減少の一途をたどっている。</p> <p>・新船の導入により、本航路の快適性や信頼性は浸透しつつある。</p> <p>・これらを更に訴求し、特に博多岬対馬航路の往復利用客を1人でも1台でも多く本航路利用促進に繋げるべく、旅行代理店やトラック業者への地道な販促活動を実践し、対馬島内とも連携しながら今後も営業活動を実践していく。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、旅客の取り込みや定期トラック等の利用増加の取組に期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	崎戸商船株式会社	友住～佐世保	<p>・離島航路改善計画の実施により、費用の削減に努めた。</p>	A	B	<p>・新型インフルエンザやコロナ感染防止対策を確実に継続するとともに、江島沖洋上風力発電事業の工事に対応し、事業者・自治体と協力していく。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、江島・平島沖洋上風力発電事業の動向に注視しながら、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州商船株式会社	佐世保～上五島	<p>・コロナ禍で落ち込んだ需要を取り戻すため、旅行商品の開発を行い積極的に島外からの観光客誘致を図ったほか、日頃から船舶の点検等を行い安全運航と経費節減に努めた。</p>	A	A	<p>・令和5年度策定の航路改善計画に基づき、使用船やダイヤの変更等に向けて取り組む。</p> <p>・改修中の佐世保港棧橋について、引き続き関係当局と連携し、高速船・フェリーともに利便性の向上に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路運営を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、脱コロナを見据え、輸送量回復に向けて関係者と連携を図り、営業活動を通じて交流人口を増加させることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p> <p>また、令和5年度策定予定の航路改善計画に沿って、安定的な航路維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	野母商船株式会社	福江～青方～博多	<p>・減速運航は、博多～宇久下り便において継続して行い燃料費削減に努め、その他の経費においては、船舶の維持点検を行い修繕費の抑制に務めた。</p> <p>・新たな得意先の獲得等積極的な営業活動を実施継続し増収に努めた。</p>	A	A	<p>・減速運航は、博多～宇久下り便において継続して行い燃料費削減に努め、その他の経費においては、船舶の維持点検を行い修繕費の抑制に務める。</p> <p>・新たな得意先の獲得等積極的な営業活動を実施継続し増収に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、地道な営業活動により、新規顧客の確保に努められていることも評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、営業活動等により、増収に関する取組や、経費削減の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	五島旅客船株式会社	郷ノ首～福江	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運航の定時性を確保しながら潮流の状況を勘案し、時間的に余裕があるときは主機関の回転数を落とすことにより燃料費の削減に努めた。</li> <li>・日常メンテナンスを計画的に実施し、船員が可能な範囲で整備修繕を行い修繕費の削減に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフターコロナを見据えて、ホームページを作成・活用し、旅客輸送実績を伸ばせるように尽力したい。</li> <li>・日々のメンテナンスや点検を励行し、機関トラブルの未然防止、安全運転に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、連続ドラマの影響を見据えた、観光関係者との連携を図りながら、交流人口を増やすことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p> <p>また、令和4年度に策定された航路改善計画に沿って経営改善の取組をなされることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～寺島～柳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関調整等による欠航をすることがないよう、適切な点検整備を行い、運航率の安定を図った。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き適切な点検整備等を行い、機関調整による欠航を減らし、急激な就航率の低下とならないよう努める。</li> <li>・次年度に運航ダイヤ改定を行い、より一層の経費節減に努め、運航の効率化を図る。</li> <li>・風力発電や太陽光発電施設建設等に係る事業の進捗により、事業者の利用が増えているので、一時的ではあるものの利用者数の改善が望める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、安全運転や機関点検による欠航回数の減少に向けた取組を実施され、風力・太陽光発電関連事業の輸送需要増加を捉えることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p> <p>また、令和6年度からの運航ダイヤ改定により、一層の経営改善に取り組まれることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	津吉商船株式会社	津吉～相浦～佐世保	<p>・平戸南部地区の過疎化に伴う人口の自然減による輸送人員の減少を補うため、平戸商工会議所主導による南部地区町おこしの一環として「南部地区活性化委員会」にも参加し、観光客誘致に努めた。</p> <p>・各種イベント等に関しても、可能な限りのPRを行い、平戸島外からの入込み客を増やすことにより運賃増収に努めた。</p>	A	A	<p>・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。</p> <p>・佐世保コンベンション協会に働きかけ佐世保地区へのPR化を図り、広域観光ルートの構築に取り組む。</p> <p>・平戸商工会議所主導による「南部地区活性化委員会」にも参加し観光誘致に努め、各種イベントに関しても、出来る限りPRを行い、運賃の増収に努める。</p> <p>・船舶修繕費については、船員で整備修繕を行い、経費削減に努める。</p>	<p>地域の過疎化が進む中で、地域住民の民生の安定及び向上のため、航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、脱コロナに向けた観光誘致活動に参画し、交流人口を増やす取組を実施することによって、引き続き航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	西海沿岸商船株式会社	佐世保～神浦	<p>・長崎市及び島民との協議を行い、観光客の受け入れ体制、ダイヤについて協議を行っている。</p>	A	B	<p>・新型コロナウイルス感染防止対策を確実に継続すると共に西海市及び長崎市(池島)と連携し航路利用客の増加に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後は、令和4年度に策定された航路改善計画に沿って、運航ダイヤの変更等の欠損額圧縮のための取組を実施していくことより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	平戸市	大島～平戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料潤滑油が高騰している中、毎月単価見積入札を実施し、購入価格の低減に繋がった。</li> <li>また、離島住民割引を引続き実施し、離島住民の利便性確保及び負担軽減を図った。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>原油価格が高騰しており、今後も主機回転数の抑制や、引き続き毎月の見積入札制度を継続し、経費削減に努める。</li> <li>また、日頃からの点検により小修理等可能な限り船員で行い経費節減に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、釣り客を含む交流人口の増加や、安全運航の更なる取組を実施していくことより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	対馬市	仁位～長板浦	<p>有人国境離島割引及び同障害者割引により、地域住民の利用促進を図った。</p> <p>経費については、小修繕・船舶保守点検など可能な限り船員で行った。</p> <p>また、主燃料(A重油)の入札を年4回実施するなど経費削減に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>本航路は主に病院受診のための高齢者障がい者が利用している。</li> <li>人口減少により、本航路利用者は減少の一途をたどっている。</li> <li>しかし、近年は本市を訪れた個人旅行者が観光目的で本航路を利用していることから、地域住民のみならず個人旅行者の利用促進を図り利用者数・収入の増に繋げていく。</li> <li>また、船舶修繕については、船員で対応可能な範囲の整備や修繕、点検は船員で実施し経費削減に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、観光客のための整備や、個人観光客の取り込み等を行う取組を実施していくことより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	野母商船株式会社	長崎～伊王島～高島	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗船券と伊王島や高島のレジャー施設の入場券をセットにしたバック商品等の販売を継続し、利用客増に努めた。</li> <li>船舶版の御朱印である「御船印」の販売を実施して乗船客の増加に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。</li> <li>令和2年度に調査事業を行い、「航路改善計画」を策定し、「航路改善計画」に基づき、省エネ型新船「俊寛(新)」を令和5年3月19日より就航致しました。</li> <li>令和5年10月1日より旅客運の賃値上を実施。(離島住民運賃割引も実施)</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、バック商品の継続や「御船印」の販売、令和5年3月就航の「俊寛」の新船効果を活かす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p> <p>また、旅客運賃の値上げを実施することによる収支改善に期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	鷹島汽船有限会社	阿翁～御厨	<p>離島住民運賃割引を継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口拡大及び観光客の誘致のために「まつら交流公社」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めた。</li> <li>燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。</li> <li>船舶修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する「航路改善計画」を作成した。それに伴い寄港地である飛島に週1回(原則水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、屎尿運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行っている。</li> <li>マスク着用、船内換気、船内消毒等のコロナ感染症対策を実施し、運航の継続を図る。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、関係機関と連携し、交流人口の増加策を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	鷹島汽船有限会社	殿ノ浦～今福	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島住民運賃割引の実施及び寄港地である飛島へ島外からの釣り客利用者の誘致に努めた。</li> <li>・燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。</li> <li>・船舶修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度の「航路改善計画」に基づき、今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事している。</li> <li>・マスク着用、船内換気、船内消毒等のコロナ感染症対策を実施し、運航の継続を図る。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、関係機関と連携し、交流人口の増加策を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	壱岐市	大島～郷ノ浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の拡大、校外学習によるフェリーの利用等、収入の維持、確保を図った。</li> <li>・経費については、消耗品の節減、燃料油費の毎月単価入札の実施、修繕費については、中間検査における一般競争入札の実施、ドック時においても船員自らデッキ等の塗装及び機器整備を実施、また日頃からの船舶保守点検を徹底し、経費節減に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、引き続き島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口拡大を図り収入の増加・確保に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	黒島旅客船有限公司	黒島～高島～相浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を継続し安定運航に努め、佐世保市と連携し観光客集客に努めた。</li> <li>・車両の搭載順や方法を調整して効率的な車両輸送を行う等、欠損増加の抑制に努めた。</li> <li>・船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努めた。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化・過疎化が進んでいるなか、引き続き佐世保市と連携し観光客集客に努める。</li> <li>・車両の搭載順や方法を調整して効率的な車両輸送を行う等、欠損増加の抑制に努める。</li> <li>・今後も引き続き、船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努める。また経費の精査を行い節減に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、世界遺産として登録されている黒島の集落等の観光資源を活かし、佐世保市と連携しながら観光客等の交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	五島市(奈留)	奈留島～前島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド運行の定着及び利便性の向上を図り、離島航路の維持持続に努めた。</li> <li>・なお赤字縮小のために令和4年4月より運賃値上げを実施した。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド運行の定着利便性の向上を図る。</li> <li>・離島航路の維持持続に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、引き続き航路改善方策に取り組まれることにより、離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	有限会社木口汽船	久賀～福江～杵島	<p>・新シーガル就航によるバリアフリー化で公共交通機関として移動の利便性及び安全性の向上が図られた。</p> <p>・また、リプレイスにより修繕費が削減できた。新船就航に合わせて、観光航路のパンフレットやチラシ配布を行ったり、長崎県観光連盟の企画に登録していることで割引クーポンの利用も増え、夏のグラスボート乗船客増に繋がった。</p>	A	B	<p>・現状の運航体制を可能な限り維持しながら、経営コストを削減し、経営を行っていく。</p> <p>・新シーガル就航によるバリアフリー化で公共交通機関として移動の利便性及び安全性の向上を図る。</p> <p>・リプレイスにより、修繕費の削減が予想されるが、他の経営コストについてもできる限り削減できるよう検討を重ねていく。</p> <p>・旅行形態の変化で団体旅行利用客が減少し、個人または小グループの観光客が増えつつある。</p> <p>・行政や観光協会と一体となり観光面でのPRや航路情報発信を進め、島民利用はもとより観光客の獲得にも努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後は、令和5年4月就航の新シーガルを活用した観光振興策への取組や、交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	有限会社黄島海運	黄島～福江	<p>・日頃から経費の削減に努め安定的な航路運営を図った。燃料費の安価購入のため、単価購入契約を実施した。</p>	A	B	<p>・離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者の目線で事業運営に努める。</p> <p>・令和4年4月「おうしまⅡ」の就航により、修繕費、燃料費の経費削減に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、令和4年4月に就航した「おうしまⅡ」の新船効果を活かしながら、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	竹山運輸有限会社	度島～平戸	・他社への傭船期間の長期化に努めたにより、雑収入の増となった。	A	A	・令和5年3月に就航した新船の利用で燃料費削減修繕費の削減に努める	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後は、令和5年3月就航の新船「フェリー度島」を活用して、欠損額圧縮を目指すほか、船舶用船先の拡大を目指すことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	・町の観光窓口である「おぢかアイランドツーリズム協会」と連絡を密にし観光客の利用など、町営船の利用促進への対策を行った。 ・また、海上交通と陸上交通との接続を考慮し、バスの運行ダイヤを変更し利便性の向上を図った。	A	B	・効率的な運航、ダイヤの見直し、航路の再編及び増収策など、関係機関と協議を行い、事業の継続に取り組む。 ・船員による機関等の点検を徹底し、修繕費の節減に努める。 ・燃料購入について見積入札を継続し、燃料潤滑油費の節減に努める。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 また、陸上交通との連携により、本航路の利便性を向上させたことも評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、野崎島を活用した交流人口の増加策を講ずることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	



**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	柳～納島	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携し、情報発信や特産品である落花生の収穫体験等をはじめ、地域おこし協力隊が開業した島内初の宿泊施設(ゲストハウス)の活用により、更なる利用客の促進を図った。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な運航、タイヤの見直し、航路の再編及び増収策など、関係機関と協議を行い、事業の継続に取り組む。</li> <li>船員による機関等の点検を徹底し、修繕費の節減に努める。</li> <li>燃料購入について見積入札を継続し、燃料潤滑油費の節減に努める。</li> <li>観光事業及び地域おこし協力隊と連携し情報発信、移住促進を行い利用客増加を図る。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、効率的な運航、タイヤの見直し、航路の再編及び増収策などを具体化することにより欠損額圧縮を図るとともに、観光事業及び地域おこし協力隊と連携し交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	嵯峨島旅客船有限公司	嵯峨島～貝津	<ul style="list-style-type: none"> <li>船員が作業を手伝うことで、ドックに伴う備船期間を短縮でき、備船料を抑制できた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>船舶建造から9年経過し、修繕箇所が増えたため、早めのメンテナンスに努める。</li> <li>また、船員不足の解消に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、船舶に対する日頃のメンテナンスを継続して行い、欠損額圧縮及び安定的な運航を目指すことで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長崎航路対 策協議会	苓北観光汽船株式会 社	富岡～茂木	<p>・町イベント時に観光航路(イルカウォッチング・サンセットクルージング等)を計画・情報発信し、観光客等の航路利用者の確保を図る。</p> <p>・Paypay、Airpay等の電子決済導入による利便性の向上維持、並びに富岡港からの二次アクセス機能の維持による観光客等の利用拡大に向けた周知を行う事で、航路利用者の確保を図る。</p>	A	B	<p>・コロナ禍前の利用水準に戻せるよう、SNSを活用し、観光航路を含めた情報発信を関係団体と連携し取り組み、航路利用者の確保を図る。</p>	<p>地域の過疎化が進む中で、地域住民の民生の安定及び向上のため、航路を維持していること自体評価できません。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、サンセットクルージング等の観光航路を活かした交流人口の増加策を関係団体と連携して取り組んでいくことにより、引き続き航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
姫島～国見航路運 営協議会	姫島村	姫島～国見の離島航 路の運航	<p>新型コロナウイルス感染症の収束により各種イベントの開催が可能になり、交流人口が増加したことに加え、公共工事の増加による自動車航送運賃の増収、施設修繕費の節減の徹底などにより、欠損額増加の抑制や安定的な航路運営に努めている</p>	A	B	<p>○新型コロナウイルス感染症の収束後は、日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進めて交流人口の増大を図る。</p> <p>○船舶については常時点検を行うことで機械的に良好な調子を保ち、大規模な修繕の発生を回避する。</p> <p>○令和2年度策定した航路改善計画に基づく取組の進捗状況の把握や取組効果の検証を行う。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進める等の交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大島～佐伯航路運 営協議会	佐伯市	大島～佐伯の離島航 路の運航	新型コロナウイルス感染症の収束により、釣り客等の来島者が増加し増収となった。協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会会長、大島地区自治会長を任命しており、協力して移住や観光、利用促進等の取組を行っている。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症収束後は、地元商工会、観光協会等の関係機関と連携して情報発信を行うとともに、活性化方策として島内イベント等を開催し、需要の喚起を図る。</li> <li>○船舶の定期検査、中間検査のほか、日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避することで修繕費の削減を図る。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、地元商工会、観光協会等の関係機関と連携した情報発信を行うとともに、離島活性化方策として、島内イベント等を開催し、需要喚起の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
蒲江～深島航路運 営協議会	佐伯市	蒲江～深島の離島航 路の運航	新型コロナウイルス感染症の収束により、少しずつ観光客等の利用が回復し、計画と比較して収益増となった。令和4年10月から運航事業者となった佐伯市は、細かな節減に努めるなど経費の圧縮を図っており、安定的な航路運営を行っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後も人口の減少が見込まれており、島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながら引き続きホームページ等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。</li> <li>○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を図る。</li> <li>○前運航事業者の撤退に伴い、令和4年10月からは佐伯市が運航事業者として事業を引き継いでおり、引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行う。</li> </ul>	<p>令和4年10月の運航開始において、新たな運航主体へ円滑に移行できたことが評価できます。</p> <p>また、島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体も評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、航路改善計画に沿って収支改善策を着実に実施していくとともに、観光関係部署と連携して交流人口の増加を図りながら、離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見～保戸島航 路運営協議会	津久見市	津久見～保戸島の離 島航路の運営	<p>新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、少しずつ観光客等の利用が回復し、今年度は収益増となった。また、津久見高校のフィールドワークでの貸切利用など、地元と一体となった利用促進に取り組み、将来の利用者への働きかけも行っている。</p> <p>令和4年10月から津久見市が航路を引き継いだ。前運航事業者である用船委託事業者と積極的にコミュニケーションをとり、安定的な航路運営を行っている。</p>	A	A	<p>○今後はさらに観光部署と連携して観光ツアーの取組を強化し、来訪者の利用拡大を図る。</p> <p>○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避する。</p> <p>○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。</p> <p>○引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行うとともに、長期的な航路運航に向けた協議を進める。</p>	<p>令和4年10月の運航開始において、新たな運航主体へ円滑に移行できたことが評価できます。</p> <p>また、島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体も評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、航路改善計画に沿って収支改善策を着実に実施していくとともに、観光部署と連携して観光ツアーの取組を強化し、来訪者の利用拡大を図ることにより、離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市離島航路確保維持改善協議会	日豊汽船株式会社	島浦～浦城	<p>【航路改善計画(令和2年度策定)に基づく取組や交流人口を増やす取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化したフェリーリプレイスに向けて課題となっている資金繰りの課題を解決するため、航路事業者、市及び金融機関による三者協議を実施した。</li> <li>・GTFSやSNS(LINE)を活用した運航情報の発信を実施した。</li> <li>・令和4年3月にオープンした飲食店の開店費用等の一部を支援した「島業」推進協議会や、島浦町で活動する地域おこし協力隊と連携して観光客の誘客に繋げた。</li> </ul>	A	B	<p>老朽化したフェリーのリプレイスに向けて、令和2年度に策定した航路改善計画に沿った航路改善方策に基づき、経費の削減に努める。</p> <p>また、利用客の中心である島民の利用促進を図るため、国の制度を活用した離島住民運賃割引制度の早期の実施に向けて、関係者で準備を進めていく。</p> <p>今後も航路を維持していくことにより島民や観光客の利便性を確保するとともに、観光関係団体と連携しながら地域の資源を活用した観光振興による利用促進を強化していくこととする。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、令和2年度に策定した航路改善計画をより具体化して実施していくことや、「島業」推進協議会や地域おこし協力隊と連携して、交流人口を増やす取組を実施していくことで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串木野・川内～甌島 航路対策協議会	甌島商船株式会社	串木野・川内～甌島 航路の運航	<p>・甌島への入込観光客の誘客促進を図るため、ホームページ及びSNSなどを活用した認知度向上に向けた情報発信の強化を図ると共に、さらには「御船印プロジェクト」に参画しオリジナル御船印の販売を開始し新規需要の開拓に努めた。</p> <p>・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した滞在型観光促進事業及び全国旅行支援に注力し、薩摩川内市及び薩摩川内市観光物産協会等と連携し、個人向けの旅行商品を造成し営業展開を図り、甌島への入込観光客の誘客促進等を図った。</p> <p>・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで利用促進を図った。</p> <p>・令和5年4月よりフェリーの島内寄港地の集約(鹿島港抜港)を実施し、航海時間を短縮し、燃料費等のランニングコスト軽減を図り収支の改善に努めた。</p>	A	B	<p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。</p> <p>・甌島の人口は減少傾向にあるが、令和2年8月の甌大橋の開通により甌島の観光振興は加速しており、引き続き、特定有人国境離島法の滞在型観光促進事業等を活用しながら、地元自治体・観光関係事業者と連携し、島外からの交流人口の増加を図る。</p> <p>・「フェリーニューこしき」の代替船建造については、令和6年2月起工(予定)、令和6年7月進水(予定)、令和7年2月竣工(予定)、令和7年3月就航(予定)にむけて、引き続き事業を計画通り進める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、令和5年4月よりフェリーの島内寄港地の集約(鹿島港抜港)を実施し、航海時間を短縮し、燃料費等のランニングコスト軽減を図り収支の改善に努めていることも評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、令和3年度の策定された航路改善計画に沿って、航路改善方策を着実に実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～三島～枕崎航路対策協議会	三島村	鹿児島～三島～枕崎航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>増便等による利便性の向上により、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した利用促進に取り込むことで、輸送量の維持・確保に努めた。</li> <li>平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、輸送量確保のため、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した、利用促進に努める。</li> <li>本航路は、住民の利便性向上のため、平成28年10月より、便数利便性改善支援制度を活用して、週3便から週4便へ増便したところであり、今後、運航日程・発着時刻に関する住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航路の利用促進に努める。</li> <li>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
鹿児島～十島～名瀬航路対策協議会	十島村	鹿児島～十島～名瀬航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。</li> <li>平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年4月より、運航ダイヤの見直しを行い、主な利用者である島民には定着していると考え、今後もこれに基づき、旅客等の利便性及び定時性の向上に努める。</li> <li>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減及び安定的な航路運営に努める。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、感染防止対策を徹底し、旅客の利用促進に努める。</li> <li>住民のコロナワクチン接種も進んできていることから、感染対策を徹底しつつ、旅客数の回復・増加に努めたい。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等に取り組むことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～喜界～知名航路対策協議会	奄美海運株式会社	鹿児島～喜界～知名航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奄美群島振興交付金による運賃軽減事業の継続実施や奄美群島誘客・周遊促進事業を活用した広報活動を行い、県内外に周知及び利用促進に努めた。</li> <li>・燃料油価格高騰に対して燃料油価格調整金を運賃に加算し適切な収受を行った。</li> <li>・気象情報等を活用し安全運航に努め、台風通過後の船便の確保など航路収支に努めた。また、地域の要望に応じたスケジュール変更等を行った。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船員確保の為、就労体制・労働環境の改善を行い新卒者船員・若年船員の定着率を上げ、教育・訓練等に参加し船員の質向上に努めていく。また、水産高校・大学等に訪問・求人積極的にやっていく。</li> <li>・旅客数をコロナ以前の水準に回復することは難しいが、奄美振興交付金等を活用しながら関係機関と連携し、広報活動(国内外の誘致)を行い利用促進に努める。</li> <li>・船舶の老朽化・物価高による各種値上げの影響により修繕維持費の増加が懸念される。また、運航コストの割合の高い燃料費については、引続きクループ企業との共同購入・エンジン回転数の低減による効率的な運航を行う。</li> <li>・地域の農畜産物や水産物等の安定的な輸送に努め、公共工事など関係市町村と連携して収益の確保に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、燃料油価格高騰への対策として、燃料油価格調整金を運賃に加算し適切な収受を行ったことも評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移りましたが、今後も、地域の農畜産物や水産物等の安定的な輸送に努め、公共工事など関係市町村と連携して収益の確保に努めることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮之浦～口永良部・ 島間航路対策協議 会	屋久島町	宮之浦～口永良部・ 島間航路の運航	<p>・口永良部島での火山災害からの復興は、ほぼ噴火前の状態に戻りつつあるが、令和5年6月26日に火山警戒レベルが「1」から「2」へ、27日に「2」から「3」へ引き上げられたこともあり、公共工事にかかる車両及び貨物の輸送量は減少した。旅客については、コロナ禍以前の水準に戻りつつあり、目標を達成することができた。島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めた。</p> <p>・平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで利用促進を図った。</p>	A	B	<p>・人口の減少や公共工事の縮小に伴う利用客の減少及び、貨物輸送量の確保が難しい状況である。噴火警戒レベルが引き下げられるまでは利用客及び貨物輸送量の確保が難しい状況ではあるものの、関係機関との連携のもと、交流人口の増加に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、関係機関との連携のもと交流人口の増加策を具体的に実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
与路～古仁屋航路 対策協議会	瀬戸内町	与路～古仁屋航路の 運航	<p>・イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。</p>	A	B	<p>・目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保に努め、代替船を建造し新船就航により現在運航している船舶の老朽化による整備等の不具合の発生を減少させ、安定的な航路運営に努めた。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後は、令和4年度に策定された航路改善計画に基づき、欠損額圧縮への取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
瀬相～古仁屋～生 間航路対策協議会	瀬戸内町	瀬相～古仁屋～生間 航路の運航	<p>・平成29年4月より実施している加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を引き続き実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。</p>	A	A	<p>・加計呂麻島住民を対象とした離島住民割引を継続して実施し、島民の利便性確保、負担軽減に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、加計呂麻島の住民を対象とした離島住民割引により利用拡大を図ることにより、島民の利便増進の取組を実施することで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長島航路対 策協議会	天長フェリー株式会 社	天草～長島航路の運 航	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、特に長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、目標の輸送量確保及び航路利用の促進に努めた。</li> <li>・コロナ5類移行とともにイベントの再開、人・車の往来が増えてきた。</li> <li>・長島町が獅子島住民の利用促進の一環として実施している自動車運賃を一部助成制度(平成22年7月より実施)を活用し、自動車輸送量の確保に努めている。</li> <li>・平成30年10月より獅子島住民を対象とした離島住民運賃割引制度により、島民の利便性確保、負担軽減を図っている。</li> <li>・上記の自動車運賃一部助成及び離島住民割引制度に獅子島住民は享受し、感謝されている。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持、確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。</li> <li>・引き続き、新型コロナウイルス感染防止策として船内消毒、アルコール消毒液の設置、従業員のマスク着用・体温計測・手洗い等の実施に努める。</li> <li>・天草～長島航路の利用促進、特に獅子島への化石見学、グルメ利用等の利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、地域間交流事業など島外からの交流人口の利用促進を図り、輸送量の維持に努める。</li> <li>・平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや代替船(省エネ効率化船)の導入による経費削減等効率的な航路運営に努める。</li> </ul>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移りましたが、今後も、長島町や天草市など関係自治体との連携をとって、地域間交流事業など島外からの交流人口の増加を図るにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p> <p>また、令和5年1月より就航しているロザリオ・カームについて、新船効果をはじめとした欠損額圧縮に資する取組みを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	竹崎～六連島航路	<p>船舶の小型化(49トン→19トン)により燃料費、検査費用、修繕費等の削減を行ってきた。</p> <p>また平成31年4月に新船が就航したことから、関係部局とともに情報発信の一環として六連島カラー版リーフレットを作成、市内の観光施設等に設置し、渡船利用者にも配布を行い、島のPRに努めた。また、令和3年8月より地域おこし協力隊員1名が元船員宿舎に居住し島おこし事業を行っている。</p>	A	A	<p>島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善に取り組んでいく。</p> <p>引き続き燃料費、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。</p> <p>コロナ収束により観光客の利用促進を図り、六連島灯台が日本遺産・国の重要文化財に認定されたので、今後PRIに努め観光客の増加に繋げていきたい。今後、島内で島民と渡船利用者との交流イベント(コンサート等)を企画しており、イベント等を通じて渡船利用者の増加を図る。</p> <p>バリアフリー対応の竹崎棧橋を更新工事をしており、令和6年3月に設置を完了予定。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、国の重要文化財に認定された六連島灯台等の観光資源を活かし、SNSを活用した情報発信等による交流人口を増やす取組みを実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	蓋井島～吉見航路	<p>テレビ等のマスコミの取材に積極的に協力し、観光客の誘致等に努めている。平成30年4月に新船が就航したことから、関係部局とともに情報発信の一環として蓋井島カラー版リーフレットを作成、市内の観光施設等に設置し、渡船利用者にも配布を行い、島のPRに努めた。</p> <p>また自治会や島民が中心となり島おこしを行っており、市としても積極的に情報発信も行っている。</p>	A	A	<p>安全に配慮しながら安定的な航路運営を行う。</p> <p>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持確保のため、今後とも燃料費、修繕費等の経費削減に努める。</p> <p>コロナ収束により観光客の利用促進を図る、九州からの釣り客等は増加傾向にあることから、関係部署や地元と協力し、運航を継続し利用者の増加に向け、鋭意、努力していく所存である。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、今後も、自治会や島民と連携して交流人口の増加に取り組むことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	